高松港コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
香川県	高松港港湾脱炭素化推進計画の作成
	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入

CNP Certification

[ターミナル概要]

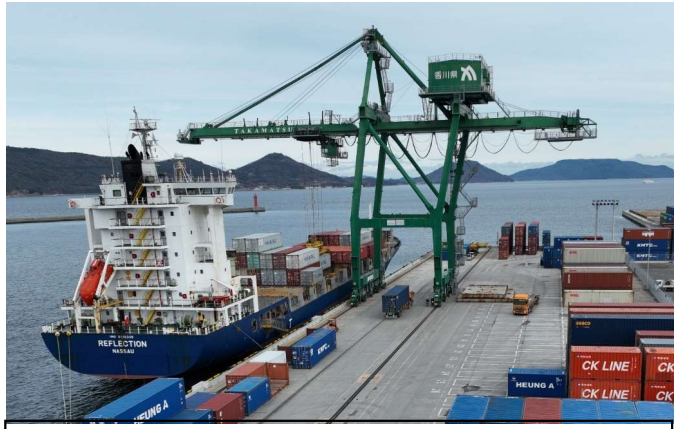
高松港は、古くから本州や瀬戸内の島々を含めた地域の人々の交流や物流の拠点として、商港・観光港・工業港としての機能を併せ持つ総合港湾として、大きな発展を続けてきました。

高松港コンテナターミナルは、平成９年度に整備され、中国・韓国との国際定期航路を有しており、四国でも有数の国際コンテナ取扱量を誇ります。

インバータ制御方式のガントリークレーンにより荷役を行っており、令和10年度にはハイブリッド式のストラドルキャリアを導入する予定など、脱炭素化に取り組んでいます。

認証レベル
Level 1
(認証日 令和7年9月25日)

CO_2排出量原単位
12.5 kgs CO_2 / TEU



インバータ制御方式のガントリークレーン
(平成25年度完成)



ハイブリッド式のストラドルキャリア
(令和10年度導入予定、契約済み)



照明施設のLED化を順次推進